

### 第3回大和高田市立総合体育館建設基本計画策定委員会会議録

開催年月日 令和4年11月21日(月)

開催場所 大和高田市役所3階庁議室

出席者

(委員) 蓬田委員長、西川副委員長、正木委員、島田委員、田中委員、作田委員、  
柳委員、杉田委員、生島委員、浅野委員、疋田委員、田中委員、小野委員  
(事務局) 下村部長、谷川課長、小川参事  
三木、中井、三浦

内容 大和高田市立総合体育館建設基本計画の骨子案、パブリックコメント徴取

1. 開会
2. 大和高田市立総合体育館建設基本計画の骨子案について  
○大和高田市立総合体育館建設基本計画の骨子案  
事務局より資料1~2の説明

#### 【質疑応答】

(委員質問)

概算事業費について35億円と見込まれているが、最近の世界情勢による建設物価の高騰についてはどのようにとらえているか。

(事務局回答)

ご指摘のとおり状況であり、今後の物価、工事単価の上昇については読み切れない。推移を踏まえて、工事費単価を57.5万円と設定しており、事業費を35億円としているが、今後の設計の中で、状況を踏まえて都度確認していきたい。

(委員要望)

大阪の万博のニュースを踏まえると、ほぼすべてのパビリオンが入札不調となっている。物価が上下することはこれまでもあったし、この先どうなるかということはあるが、柔軟に考えていただきたい。

(委員要望)

設備計画の中で再生可能エネルギーの導入とあるが、具体的に今後詰めていくのだろうが、ある程度インシヤルを掛けてもランニングを抑制することについて検討してもらいたい。ソーラーは当たり前だが、売電で運営するのではなく、熱を取り込んだパッシブソーラー、例えばOMソーラーを安曇野市では導入している。予算的に可能か、検討していただきたい。

(委員質問)

地域性への配慮とあるが、昔は鉄骨やSRCで作られていたが、最近は大断面集成材など木造で作られている。従来は木造だと単価が高いが、これくらいの大規模だとスケールメリットがあるのではないかと。長野や安曇野など。自然の材料を使うと優しい雰囲気が感じられた。検討していただきたい。

(事務局回答)

構造自体が木造になるかどうかは今後の検討になるが、木質化については検討していきたい。

(委員質問)

資料3のp.25で、パブリックコメントで公表していく中で、概算事業費のほか、このための財源をどうするか、ということ計画に盛り込む必要はないのか。箱モノを作ることになるので、補助金がもらえる等、市民に公表していった方がよいのではないかと思う。事業手法については、p.27-28でPFIをはじめとした民間事業手法を検討するという表現だが、基本構想の段階ならこの表現でよいが、基本計画の段階ではどういう事業手法で行くのかというのを決定していくのではないかと思うが、今の段階では決定しきれないということか。

(事務局回答)

財源については国費等が使えることを明記していく方がよいので明記する。事業手法については総合公園内に整備されるということで、総合公園のほうの事業手法を検討している中で体育館だけ先行して決定してしまうことは避けたほうがよいと考えられる。総合公園の方の検討をふまえて決定すべきであり、慎重にしたい。

(委員質問)

来年度に事業手法が決定するということか。P.28のスケジュールだと、従来手法が一般的なもので、来年度に事業手法決定ということで大丈夫か。発注手法についてはDBやPFIとなると合意形成がなされてから決定となる。いきなりDB、PFIではない。来年度が検討期間となるのであれば、もう少しわかりやすく書いてほしい。

(事務局回答)

具体的なスケジュールについては都市計画課でP-PFIを検討している最中であり、現段階で市の方針を決めるのは難しい。都市計画課のPFIが今年度に決まると聞いているので、このようなスケジュールを組んでいるという状況。

(委員回答)

都市計画課では、今年度末を目指してP-PFIを検討しているが、今まさにサウンディングしているところである。今年の12月頃までにP-PFIの可能性が見える予定である。体育館事業では、PFI単独の検討費用を見られていない。本来は今年度に並行して盛り込んでおくべき案件だった。その分のサポートとして、体育館をPFIでできないかと入口部分のところを都市計画課の事業の方で検討している状況である。市民からのパブリックコメント徴取をすることから一旦内容をくくったうえで3パターンを示し、来年度改めてPFIが現実的になるのなら、その検討をした

うえで、担当部局において計画の一部変更を踏まえて公表としないといけないかと考える。来年度への引継ぎ事案になるかと思う。

(委員質問)

p. 27 に PFI として民間事業者を入れる形で書かれているが、これは決定事項か。

(事務局回答)

決定ではないが、民間事業者を入れることでメリットがあるので、それを踏まえて視野を広く検討していきたいという主旨である。

(委員質問)

運営を市にするのか民間にするのかは決まっていないということか。

(事務局回答)

まだ決まっておらず、検討する余地はある。

(委員質問)

今の質問は、民間事業者を入れるべきということかどうか。

(委員質問)

本来は市の方が管理をするのが良い。民間事業者なら安くなるのだろうが、体育協会として利用するのに、体育協会云々ではなく、テニスコート1つにしてもあまり管理がされていない。ローラー引きや草刈きなど、利用する中である程度協力しているが、市の方が管理してくれたら、ある程度管理してくれると思う。利用方法についても、自分のところが運営しているクラブチームが優先して使っている。市が運営する方が良いのではないか。

(事務局回答)

現状では運営方法をどうするかは決まっていない。コミュニティプールは指定管理者が運営している状況である。体育館が総合公園に整備されたときには、管理運営を一緒に、ということは考えられる。今後そうするか、市が管理するかということはある。一方で人口が徐々に減少している状況であり、それに伴い市の職員も今後は減少していくと思われる。大和高田市以外も民間事業者に委託している。当市も同様に今後を踏まえて考えていきたい。

(委員質問)

まちづくりの指針に基づいてというのは明記されているが、大和高田市において人口減少が言われている中で、住みやすく働ける場所を作ろうという、まちひとしごと総合戦略についてはどのような関連付けがなされているか。

(事務局回答)

関連計画については p. 1 について記載しているが、総合戦略については明記できていないので、確認しておく。

(委員質問)

せっかくの機会なので、雇用促進等により、大和高田市の問題解決の一助となる

のではないかと考える。

(委員質問)

奈良県産木材を利用して、事業費が高くなるのではないかというイメージをもっている。県産材について謳いながら、総額 35 億という数字は昔から言われているが、木材を使ってこの単価で行けるのか。環境建設部で建設を任されるので、その際に問題になるのではないかと考えている。いざ実施設計をした時に 40 億円かかったとならないか。

(事務局回答)

基本計画段階の概算事業費については詳細な概算ということではなく、全体のボリューム、必要な床面積に単価を乗ずるとのこととしている。近年の類似事例と物価の上昇を踏まえている。

(事務局回答)

木造となると構造材に CLT 等、大規模構造物で作ることが多くなっている。構造材で木を使うと 1.2~1.3 倍となる可能性がある。構造材として使うと工事費が高くなるので、内装材に使うと良いのではないか。

(事務局回答)

近年では鉄骨造で木を組み合わせた事例が多い。神戸市の磯上体育館、門真市体育館などである。

(委員質問)

単価も同じくらいか。

(事務局回答)

同程度である。

○パブリックコメントの徴取

事務局より説明。

**【質疑応答】**

・特に意見無し。

○その他

・特になし

4. 閉会